

総合的な学習の時間 「手話教室」

茅ヶ崎市立緑が浜小学校



単元（題材）目標

- 障がい者が安心して暮らせるようにするために自分にできる活動を考え、共によりよく生きようとする資質や能力を身に付ける。
- 体験活動や調べ学習を通して、障がい者の立場を理解し、自分たちの町におけるよりよい暮らしに係る支え合いや共に生きることの意義について考えることができるようにする。

（1）実施時期

令和元年 11 月中旬

（2）対象（学年等・人数）

第 4 学年 60 名

（3）指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：市内ボランティアサークル「松の会」4名、茅ヶ崎市聴覚障害者協会 3名

（4）実施内容

- ①講話：「聴覚障がいについて」
 - ・聴覚障がいの方が困ることについて、4名の方から話を聞く。（手話通訳あり）
- ②手話体験：各学級で手話実践
 - ・各学級に講師 4 名（聴覚障がいの方）、ボランティア 3 名
 - ・簡単な会話（あいさつなど）
 - ・手話に関する基本的知識

（5）成果

- 講話や手話体験を通して、聴覚障がい者の感じ方や考え方を理解し、その人の立場に立って考えることができた。
 - 障がいのある人と共に暮らしていくために、自分にできることを考え、実践しようとする意欲を高めることができた。
- 〈児童感想 一部抜粋〉
- ・耳が不自由だと地震など、災害時にとても不安になるだろう。災害時には自分も余裕がなくなるかもしれない。でも、困っている人を見かけたら声をかけようと思う。少しでも他人を気に掛けることができれば、助かる命があると思う。

（6）その他

- 保護者にも参観してもらえよう、「学校へ行こう週間」に実施した。（15名参加）